

卸売物価指数における調査価格の変更実績(2000年1~3月中)

1. 調査価格の変更件数

()内は前年、[]内は全体の調査価格数<2000/12月時点>

主な類別	件数	主な品目名
国内卸売物価 [3,375]	62(95)	
電気機器	23(21)	電子計算機本体、集積回路、携帯電話、入出力装置、カラーテレビ、ビデオテープレコーダ、ビデオカメラ、ラジカセ型オーディオ、ポータブルオーディオ、ファクシミリ
その他工業製品	8(15)	辞典、木製流し台セット、電子ピアノ・オルガン、電子応用がん具、プラスチック製がん具、魔法瓶
一般機器	6(7)	研削盤、動力噴霧機、複写機、工業用ミシン
繊維製品	6(5)	ナイロン長繊維織物、ポリエステル長繊維織物、女子用セーター
加工食品	3(10)	ハンバーグ、洋生菓子、ビスケット類
輸送用機器	3(11)	普通乗用車、普通トラック
輸出物価 [624]	30(20)	
電気機器	9(8)	入出力装置、充電発電機、ビデオカメラ、カーオーディオ、シリコンウエハ
その他工業製品	5(1)	塗工印刷用紙、板紙、プラスチックフィルム、ピアノ
輸送用機器	4(3)	小型乗用車、フォークリフト、バス
輸入物価 [895]	38(27)	
機械器具	13(10)	電子計算機本体、ボタン電話装置、理容用電気器具、小型乗用車、普通乗用車、航空機
食料品・飼料	11(8)	チーズ、ビスケット類、炭酸飲料、果実缶詰、麦芽、茶類、たばこ、飼料用乾草類
金属・同製品	5(0)	冷延広幅帯鋼、熱延広幅帯鋼、厚・中板
合計 [4,894]	130(142)	

(注) 調査価格の変更：調査対象商品の変更、取引条件の変更、調査先の変更、輸出先・輸入元の変更、契約通貨の変更等。

2. 新旧商品の品質調整の方法

件、()内は前年

	国内卸売物価	輸出物価	輸入物価	合計
コスト評価法	22(34)	10(8)	7(4)	39(46)
オーバーラップ法	6(16)	2(2)	6(7)	14(25)
ヘドニック法	2(1)	0(0)	2(1)	4(2)
直接比較法	8(15)	1(4)	6(7)	15(26)
単価比較法	1(2)	0(0)	0(0)	1(2)
比較困難	23(27)	15(2)	15(6)	53(35)
その他	0(0)	2(4)	2(2)	4(6)

(注1) 各品質調整方法の内容とその具体例については、「卸売物価指数の解説」付録編の付8「品質調整の具体例」をご覧ください。

(注2) その他は、契約通貨の変更。

3. 指数上の処理

件、()内は前年

	国内卸売物価	輸出物価	輸入物価	合計
値上げ	0(2)	2(0)	0(2)	2(4)
保合い	40(57)	23(12)	31(17)	94(86)
値下げ	22(36)	5(8)	7(8)	34(52)

(注) オーバーラップ法(新旧商品の価格差を両商品の品質差とみなして、実質保合いで指数を接続する方法)を適用したケースについても、新しい調査価格が前月に比べ下落(上昇)している場合は、値下げ(値上げ)処理として扱っている。

4. その他

【価格調査段階の変更<国内卸売物価>】

()内は変更を行った調査価格数

類別	品目名	変更内容	実施月
繊維製品	ナイロン長繊維織物 (1)	卸売 生産者	2月
"	ポリエステル長繊維織物 (1)	卸売 生産者	2月
"	人絹織物 (2)	卸売 生産者	3月
電気機器	カラーテレビ (2)	卸売 生産者	2月、3月
"	ラジカセ型オーディオ (1)	卸売 生産者	2月
"	ポータブルオーディオ (1)	卸売 生産者	3月

需給の動きや技術革新の影響を含めた価格動向を、よりの確に指数に反映する目的で実施。

以上